

日本の小学校の見学記

高京淑

先日、金子先生の紹介で、金子先生が教師をやっている戸塚東小学校へ授業参観に行くことになった。先生は算数を教えていて、その日の授業は、午前中のみだった。

前夜遅くまでアルバイトをしたせいで、起きるのがやっと10時だった。あわてて支度をし、小学校の最寄り駅東川口に着いたときには、もう午前中の最後の授業の20分前だった。これからバスに乗らなければならないのに……と思いバスの時刻を見たら5分もまたなければならなかった。

これでは到底間に合いそうもないと思って、タクシーを利用することにした。さすがタクシーは5、6分立たないうちに戸塚東小前まで連れて行ってくれた。

急いで3階の金子先生のクラスを見つけてほっとしたところで、私はあることに気づいてしまった。みんなの足元が私と違ったのだった。「あっそうか！日本の小学校は入るとき、スリッパにはきかえなければならないんだ。」と思い急いで1階まで戻った。

1階の玄関でうろうろしながらスリッパを捜してみたが見つからず、私は他の人はどうやっているかを観察してみた。そしたら、みんなは持参したスリッパに履き替えていた。

仕方なく職員室に行って「スリッパ持ってこなかった」と言ったら、教職員用を一足貸してくれた。

スリッパに履き替え、私はいろいろな教室を見回ることにした。そして、私は1階の1年生の国語の授業に目をとられてしまった。

先生が黒板に絵を貼っていて、生徒はその絵の中に出てくる単語を一つ一つ言っていた。「なるほど！」と私は頭を頷いてしまった。これなら子どもたちは飽きず、楽しく単語を覚えられるのではと思った。

私達中国では、勉強は楽しくやるものではなく、将来いい仕事に就けるという信念だけを持って、なんでも無理やり覚える。一つの単語を覚えるにしても、覚えられるまで10回20回も書く。

そして、算数の教室を見学したが、算数の授業も、ただ口頭だけで説明するのではなく、何かの道具を使ってわかりやすく説明していた。

次に行った保健の授業も、中国のやり方と全く違った。何人かで組を組んで、一つの課題を調べ、前でプレゼンテーションを行う形で授業が進められていた。

このような授業のやり方は、みんなでするので、楽しく調べることもできるし、みんなの前で発表できるので、大人数の前で話せる練習にもなるので将来の仕事や普段の生活にもとても役立つと思う。

本当に初めて日本の小学校の授業を見学して、中国との違いにとっても驚き、中国でも日本のやり方を取り入れてやったら、子どもたちはもっと楽しく勉強に取り組むことができるのではないかと思った。

中国の教育に携わっている人たちに見せたい気分だ。

今後チャンスがあれば、中学、高校の授業参観にも行ってみたい。

12・1月予定

	火曜日 (市民パートナーステーション)				金曜日 (栄町公民館)			
12月	5日	12日	19日	26日	1日	8日	15日	22日
1月	9日	16日	23日	30日	5日 交流会	12日	19日	26日

時間の変更 (12月26日)

今年1年間の締めくくりの日ということから、この日は8時までの学習になります。

その後は、それぞれに交流をしましょう。

お酒もよし、コーヒーを飲むもよし楽しい時間をすごしましょう。

新年の交流会

1月は5日から教室が始まります。
そこで5日には、火曜日金曜日に学んでいる人、スタッフとの交流会を行います。

日時 1月5日 (金)

6時30分より

場所 かわぐち市民パートナーステーション
(火曜日の場所です)

会費 500円

当日いただきます

(2次会もあるよ)

餅つき大会

恒例になっている餅つき大会を今年も行います。

つきたてのお餅は美味しいですよ、みんなで食べに行こう。

日時 1月28日

11時30分より

場所 江藤家 (東大宮駅近く)
(詳しくは後日)

